

リーディングDXスクール事業【実践事例】

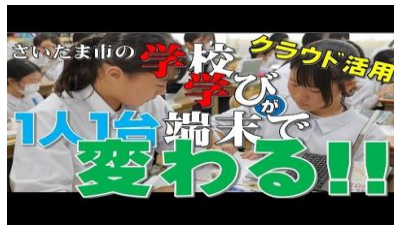
さいたま市立美園南中学校

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

○数学科における取組

・クラウドを活用した、先を見通せる学習

2年生の数学科において、Microsoft Teamsのクラスチームでのみ利用できる「授業」機能を活用し、全単元の授業用PowerPointをPDF形式で生徒が、自分が必要とするタイミングで利用することができ、予習や復習を生徒自らが調整して取り組むことができた。授業においては左の写真のように、個別・ペア・グループ・ディスカッションによって練習問題に取り組んだ。ディスカッションは黒板前でやっているが、この会話を個別やペア等の他の方式で学習している生徒も聞き耳を立てており、必要に応じて移動をしてディスカッションに参加していた。実際の様子については、以下のビデオを参照ください。



○理科における取組

・個の気づきを集団に共有・深化

3年生の理科において、デジタルホワイトボードソフトを利用し、生徒一人一人が、授業の課題について個々のページを編集して学習に取り組んだ。他の生徒の内容などを自由に参照できるようにしたため、個別で行いながらも、全体で共有しながら学習を進めることができた。

・振り返りシートのデジタル化

Microsoft Teamsクラスチームに、Excelによる振り返りシートを共有し、観察・実験の結果を記入し、観察・実験後にすぐにクラス全体で確認できるようにした。全体での共有がスムーズに行えるようになり、他の班などと結果を比較して考察をすることができるようになった。

・シミュレーションを利用した体験的な学び

シミュレーションソフトを使用し、生徒自身が様々な条件を指定してどのような現象が起きるのかを確認しながら学習を進めた。また、地学の分野では、教室や理科室では再現できないような現象をシミュレーションソフトを利用することで、生徒に演示をした。